

令和7年4月23日

入院中の患者様に処方された薬剤の未投与について

医療法人恒昭会 藍野病院
院長 山本 直宗

当院に勤務する看護師が、患者様に処方された薬剤の一部を院外に持ち出し、自らの自動車に保管していたことがわかりました。

看護師は、服用を拒絶された薬剤の処理に困って院外に持ち出し、家にも持ち帰ることができずに自らの自動車に保管していたと述べていますが、当該看護師が薬剤を持ち出した経緯等の詳細については、現在も事実関係の調査を進めています。

患者様、ご家族の皆様、ならびに関係者の皆様に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

当院は、当該看護師から薬剤の返還を受け、1回以上の未投与がある患者様を特定しました。

その上で、はじめに当該看護師が勤務していた病棟に入院中の患者様について、診療録や血液検査結果の確認、診察を行い、主治医より患者様ご本人やご家族様に、これまでに把握できた事情を説明いたしました。これまでの調査では、未投与の時点から現在までの間、患者様の健康状態に顕著な変化は見られませんが、引き続き慎重に健康状態の変化等を確認するとともに、複数の医師による検証を実施してまいりたいと考えています。

現在当該病棟に入院しておられない患者様についても同様の調査を実施いたします。

当院としては、このたびの事態を重く受け止め、再発防止に向けた再教育および管理体制の見直しを検討する必要があると考えており、薬剤が院外に持ち出された経緯の詳細の調査、当院の管理体制の問題の検証、再発防止策について、弁護士で構成される第三者委員会に検討を求めることといたしました。

今後も、地域の皆様に信頼され、安心して医療を受けていただける病院を目指し、全職員一丸となって取り組んでまいります。

以上